

STORY

雨が一滴も降らない、からからに乾いた夏の長崎。
幼い息子を亡くした喪失感から、幽霊のように坂の多い街を漂う小浦治（オダギリジョー）。
妻の恵子（松たか子）とは、別居中だ。この狭い町では、元同僚の陣野（森山直太郎）と恵子の関係に気づかないふりをするのも難しい。
働いていた造船所が潰れてから、新しい職に就く気にもならずふらふらしている治の前に、妹・阿佐子（満島ひかり）が、17歳の娘・優子（高石あかり）を連れて訪ねてくる。おいしい儲け話にのせられた阿佐子は、1人で博多の男の元へ行くためしばらく優子を預かってくれという。
こうして突然、治と娘の優子との同居生活ははじまることに……。
高校へ行かずアルバイトをはじめた優子は、そこで働く先輩の立山（高橋文哉）と親しくなる。
懸命に父親代わりをつとめようとする治との二人の生活に馴染んできたある日、優子は、家を訪れた恵子が治と言い争いをする現場に鉢合せてしまう……。



出演：オダギリジョー 高石あかり 松たか子
森山直太郎 高橋文哉 篠原ゆき子／満島ひかり
光石研
監督・脚本：玉田真也
原作：松田正隆（戯曲『夏の砂の上』）
音楽：原摩利彦

映画公式HP



映画『夏の砂の上』7月4日（金）公開
配給：アスミック・エース
©2025 映画『夏の砂の上』製作委員会

COMMENT

監督・脚本 玉田真也

今まで読んできた戯曲は数多くありますが、この「夏の砂の上」は僕にとって特別な作品であり続けました。
僕たちが生きる上で避けられない痛みや、それを諦めて受け入れていくしかないという虚無、そして、それでも生はただ続いていくという、この世界の一つの本質のようなものがセリフの流れの中で、どんどん立体的に浮かび上がってくる素晴らしい作品です。
その作品を映画にするということは僕にとって念願であったとともに、挑戦でした。演劇としての完成度があまりにも高いと思ったからです。
そして、その挑戦は間違っていなかったと長崎での撮影を始めて確信していきました。
長崎の街の中に入っていくと、この街自体を主人公として捉えることができる、これはきっと映画でしかない得ない体験だと感じていったからです。
僕の頭の中だけにあった固定された小さな世界が、長崎という街と徐々に融合してより豊かに大きく膨らんでいく感覚でした。
この映画を皆さんに観ていただけるのを楽しみにしています。



主演：小浦 治 役／オダギリジョー

脚本を読んだ瞬間「これは良い作品になる！」と感じた僕は、すぐにプロデューサーを買って出ることになりました。
俳優としては勿論、様々な面で役に立てれば、という思いからでした。
松さんと満島さんを始め、信頼できるキャスト、最高のスタッフが共鳴してくれ、真夏の長崎にこの上ない土気が用意されました。
あくまで玉田監督の補佐的な立場を守りつつ、隠し味程度に自分の経験値を注ぎ込めたと思います。
昨今の日本映画には珍しい『何か』を感じて頂ける作品になったと信じています。



観光情報

長崎県公式観光サイト「ながさき旅ネット」



長崎県の観光・アクセス、
お得な交通情報は
こちらから



長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」



長崎市内の観光・
グルメ情報は
こちらから



〒850-8570 長崎県長崎市尾上町3番1号 長崎県庁5F
TEL: 095-826-9407 FAX: 095-824-3087
E-mail: info-fc@ngs-kenkanren.com

※本誌の無断転載・複製を禁じます。掲載している内容は2025年6月時点のものです。



特集ページ

夏の砂の上 長崎ロケ地マップ



乾いた心が、かさなるとき――

夏の砂の上

夏の砂のように
乾ききった心に沁み込む
一筋の希望を描く、
切なくて温かい珠玉の物語。

7/4 Fri

オダギリジョー

高石あかり 松たか子

森山直太郎 高橋文哉 篠原ゆき子／満島ひかり

斉藤陽一郎 浅井浦介 花瀬さき

光石研

監督・脚本：玉田真也

原作：松田正隆（戯曲『夏の砂の上』）

音楽：原摩利彦

監製：アスミック・エース

配給：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース

制作：アスミック・エース